

第 1 章 調査概要

1. 調査の目的

都内の病院・診療所等における看護補助者の導入（雇用・活用）状況と看護補助者に対するニーズを把握し、東京都ナースプラザ事業及び、東京都の看護施策を検討する上での資料とする。

2. 調査の内容

- (1) 回答者の役職
- (2) 施設種別
- (3) 許可病床数
- (4) 看護補助者の導入状況
- (5) 看護補助者を導入した理由（導入時の課題）
- (6) 看護補助者を導入した時期
- (7) 看護補助者の導入による、課題解決の効果
- (8) 外国人看護補助者の導入について
- (9) 外国人看護補助者の導入にあたり重視した（している）点
- (10) 外国人看護補助者の導入にあたり配慮している点
- (11) 求める人材
- (12) 雇用・活用する際に工夫した（している）点
- (13) 看護補助者の呼称
- (14) 看護職と看護補助者の雇用形態と人数
- (15) 看護補助者の勤務形態と人数
- (16) 平均勤続年数
- (17) 看護補助者が行っている具体的な業務
- (18) 現在活用している採用ルート
- (19) 看護補助者の充足状況
- (20) 今後、採用を希望する（予定している）看護補助者の人数
- (21) 看護補助者に対する教育・研修の実施状況
- (22) 実施している、または実施予定の看護補助者向けの教育・研修内容
- (23) 外部団体による開催を希望する看護補助者向けの教育・研修内容
- (24) 外部団体による研修を開催する場合、参加しやすい研修形式
- (25) 研修内容の理解を深めるための工夫
- (26) 看護補助者を導入するうえでの課題
- (27) 外部からのサポートにおいて必要な課題や要望
- (28) 東京都ナースプラザへのご意見や要望

看護補助者を導入していない場合

- (29) 看護補助者の導入検討の有無
- (30) 看護補助者を導入しない（しなかった）理由
- (31) 将来的に看護補助者を導入する可能性について

3. 調査の設計

(1) 調査対象 都内の病院（633 施設）、有床診療所（327 施設）、無床診療所（466 施設）
助産院（20 施設）

(2) 調査方法 郵送配布－郵送による回答または Google フォームによる回答

(3) 内訳 総数 1,446 施設

(4) 調査期間 令和7年5月9日（金）～令和7年6月13日（金）

4. 回収結果 385 施設（回答率 26.6%）

5. 調査結果の見方

- ・特に記載がない場合は、令和7年5月1日現在の回答である。
 - ・設問中に特に指示がない限り、回答は1つである。
 - ・複数回答の設問は、全ての比率の合計が100%を超える場合がある。
 - ・百分比は回答者数（該当設問においては該当者数）を100%として算出し、表の数値は小数点以下第1位を四捨五入している。
- そのため、比率の合計が必ずしも100%にならない場合がある。
- ・設問に対する無回答は、無回答として集計している。